

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

派遣先大学：マカオ大学

氏名：坂井穂花

4月は4か月目というだけあって、いい意味でマカオでの生活に慣れてきて、比較的ストレスに少ない一ヶ月となりました。4月の初めは、“Ching Ming Festival”という休日があって、金曜日が祝日になったので、2泊3日で友達とフィリピンのセブ島へ旅行に行きました。飛行機の遅延がひどくて初日は睡眠不足で辛かったのですが、二日目にアイランドホッピング（フィリピンの島巡り）ツアーで3つの島に行きました。日本語ツアーだったので日本人の方に案内していただけてとても楽しかったです。人生初のシュノーケリングを体験して、美しい珊瑚や魚の群れを間近に見ることができました。セブ市内での移動は基本的にGrabを使っての移動だったのですが、場所によっては交通状態などにより捕まらないことがあって大変でした。セブ市は道路状況的にみると、まだ発展途上の様な感じがしました。フィリピンらしい食べ物は食べることはできなかったのですが、日本人が経営しているステーキハウスに行くことはできました。

4月いっぱいまで授業は終わるので、4月の3週目は私の授業スケジュール的に毎日プレゼンがあってとてもハードな週になりました。FBA（ビジネスの学部）の授業は最終プレゼンがある授業が多かったので(私のとっているビジネスの授業4つのうち3つ)、元から福大で専門として学んできているわけではないので内容的にわからないことも

あってチームのメンバーに助けをもらいながら準備しました。二年生の授業3つと三年生の授業1つを取っているのですが、ここ四ヶ月で二年生と三年生で授業態度や雰囲気にもものすごく差を感じていました。二年生は日本の一般的な大学生と同じ授業態度（授業中携帯をずっと触っているだけ）で、少し関わりにくく、三年生は携帯を少し触るのですが、しっかりと講義を聞いてメモを取るといった態度でした。英語力もやはり三年生の方が上に感じました。普段からの授業態度に差があるし、二年生は英語を使うことに慣れていないみたいで、私以外のメンバーで中国語・広東語で話し合いをしていて、プレゼンの期間はコミュニケーションの面で若干ストレスを感じることもありましたが、わからないことはすぐに聞くようにしていました。

そして、三月ごろに大学のメールでマカオ大学の吹奏楽団の演奏会のお知らせが着ていて、開いた瞬間に行きたいと思い、実際に演奏会に行って、入団を決め、自ら代表の方と連絡を取りました。そして、4月、練習に参加し始めました。日本語を独学で勉強している学生や日本語学科の学生などなどたくさん友達ことができました。いままで留学生しか友達がいなかったのも、とても嬉しいです。交流の場が広げられて、そして、中学から大学1年まで続けていた吹奏楽をまた始められて、とても良い、新たなスタートを切れたのではないかなと思います。週一の練習で、厳しい環境ではないので非常にやりやすいです。指揮者も学生も英語は話せますが、指揮者は基本合奏の時、広東語で話すので、隣の学生に通訳をしてもらって何とかついて行っています。留学生で入団したの

は、私が4番目だそうです。これから楽しんでいきたいと思います。

